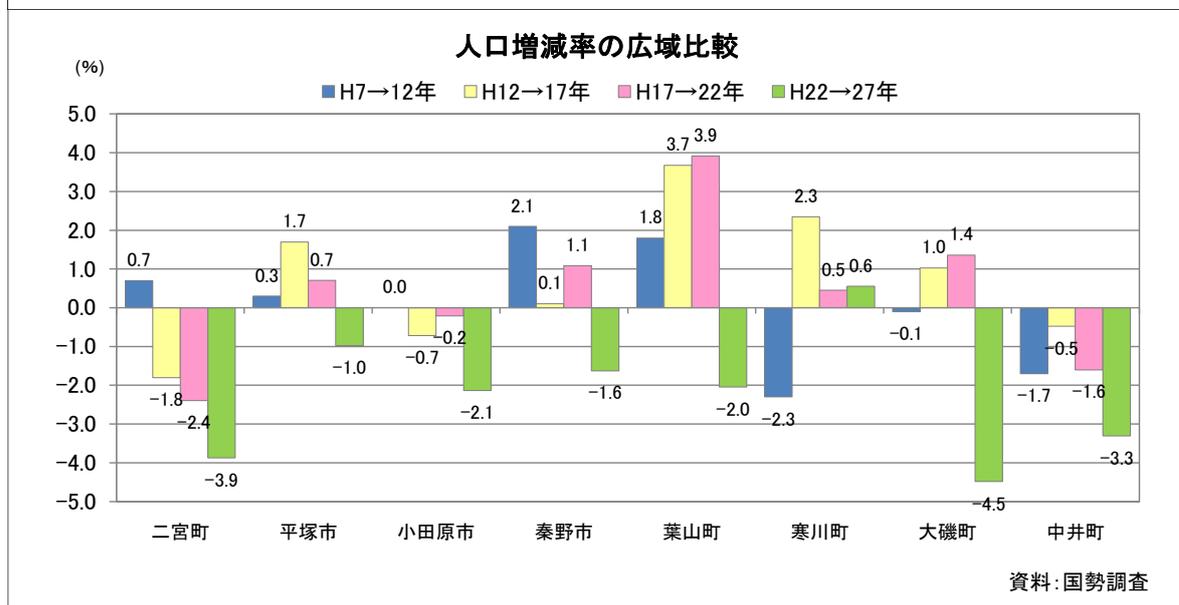
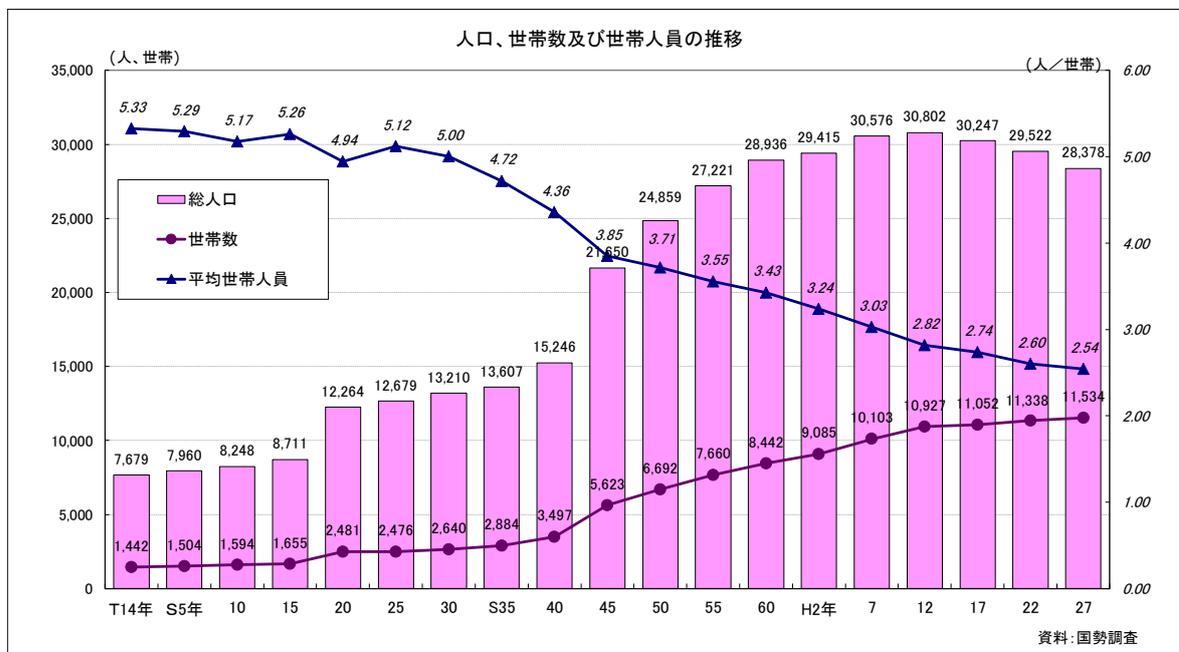


## 町の基礎情報

### 1 人口・世帯

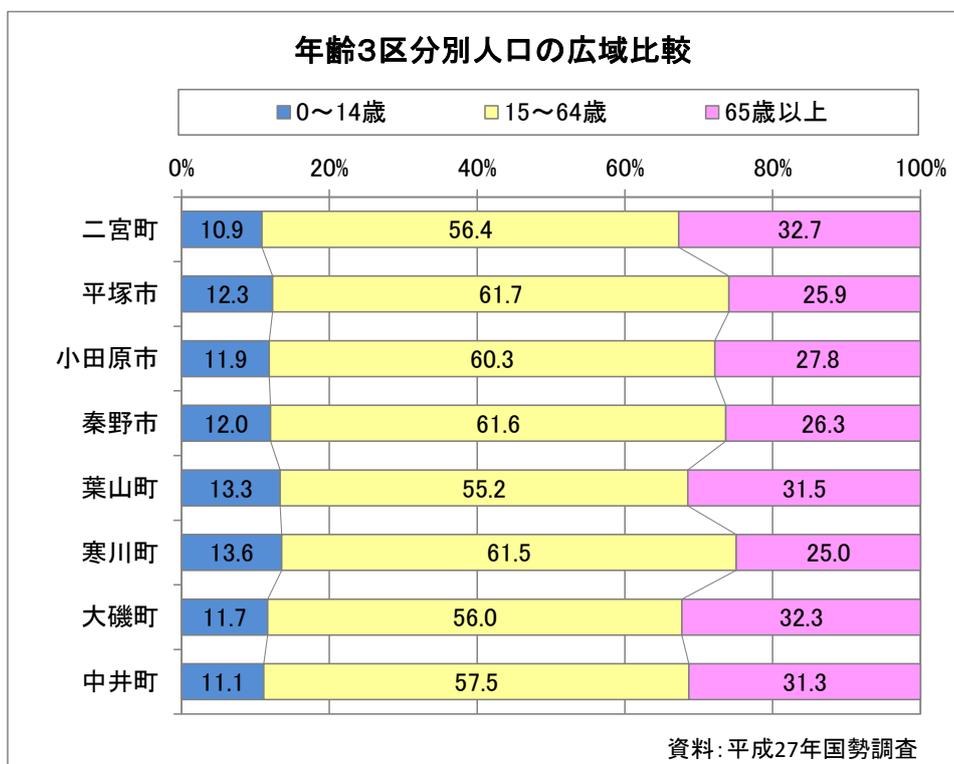
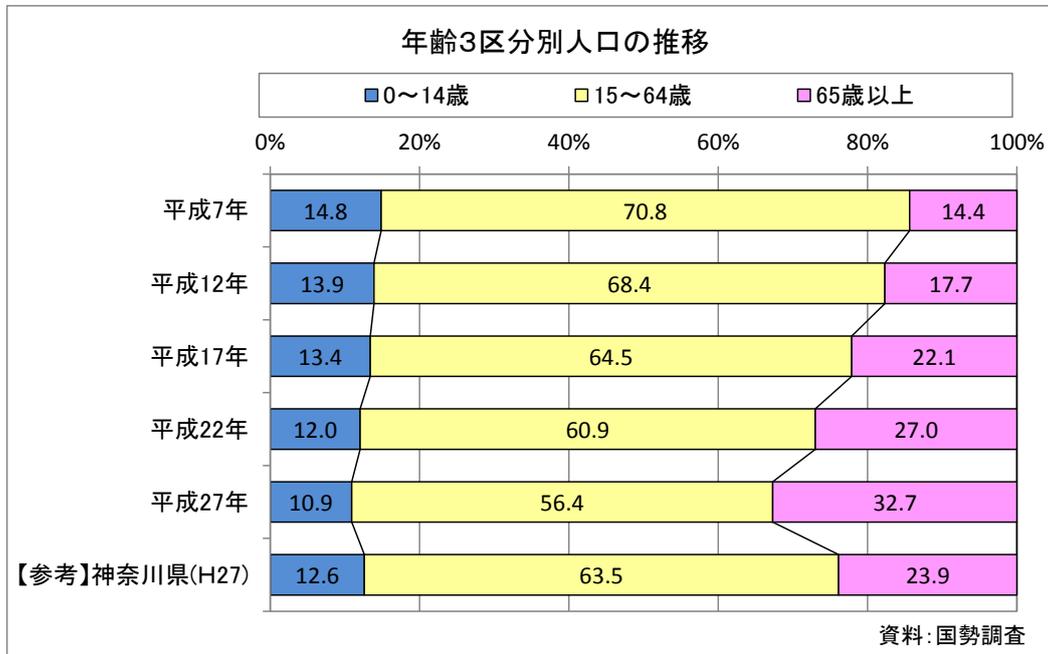
#### (1) 人口・世帯数

- 平成 27 年（2015 年）国勢調査による本町の人口は 28,378 人で、高度成長期の昭和 45 年（1970 年）に急増し、それ以降増加を続けてきましたが、平成 12 年（2000 年）の 30,802 人をピークに減少が続いています。
- 世帯数は 11,534 世帯で、鈍化しているものの増加傾向が続いています。
- 平均世帯人員は 2.47 人で、昭和 25 年（1950 年）以降、減少傾向が続いています。
- 人口の増減率を見ると、減少率は年々大きくなる傾向にあり、平成 22 年（2010 年）から平成 27 年（2015 年）にかけては 3.9%の減少となっています。
- 周辺・同規模自治体と比較すると、平成 22 年（2010 年）から平成 27 年（2015 年）にかけては、寒川町以外の自治体で人口が減少していますが、増減率は大磯町に次いで低くなっています。



## (2) 年齢別人口

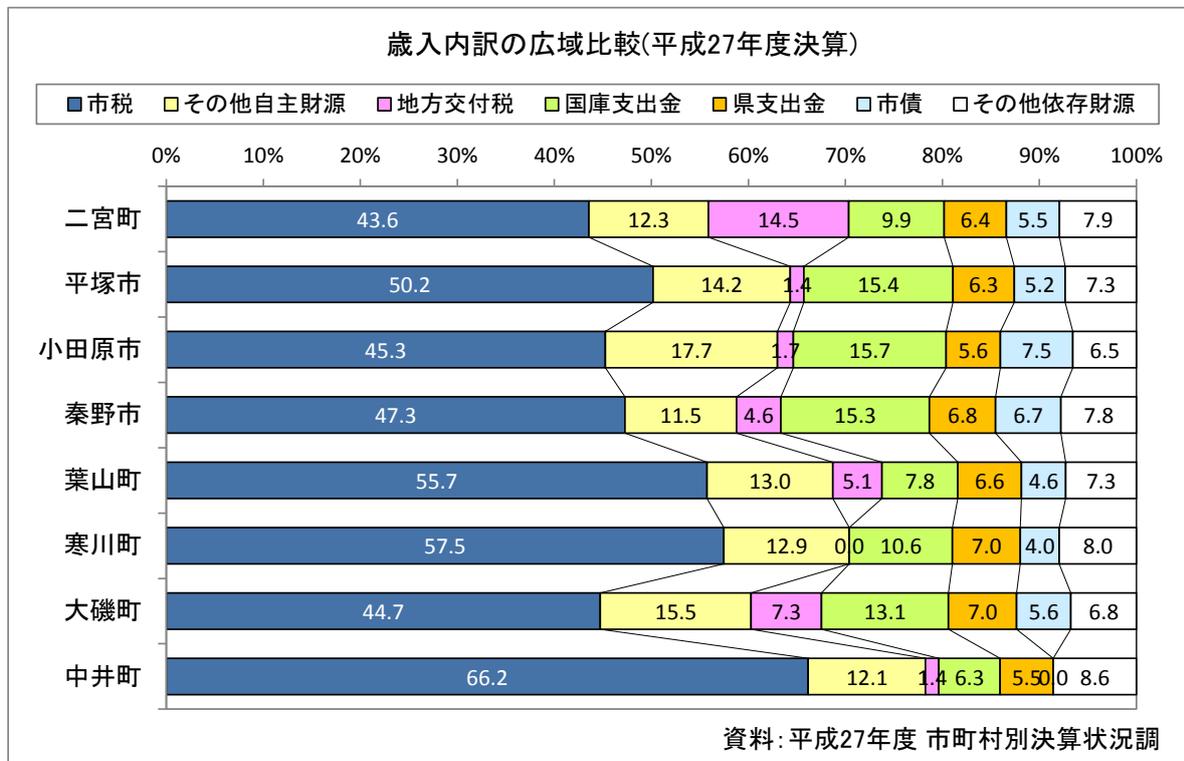
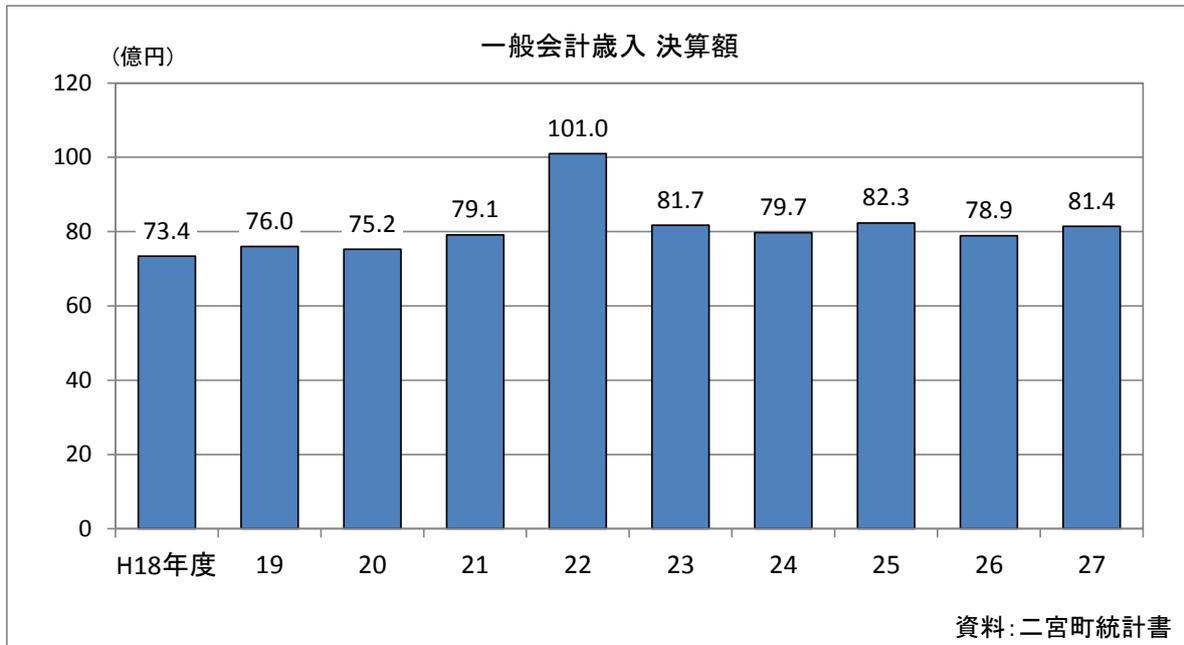
- 少子高齢化が進んでおり、65歳以上の人口比率は平成7年（1995年）の14.4%から平成27年（2015年）には32.7%と増加しており、県平均の23.9%を大幅に上回っています。
- 周辺・同規模自治体と比較すると、65歳以上の人口比率は最も高く、15歳未満の人口比率は最も低くなっており、少子高齢化が進んでいます。



## 2 行財政

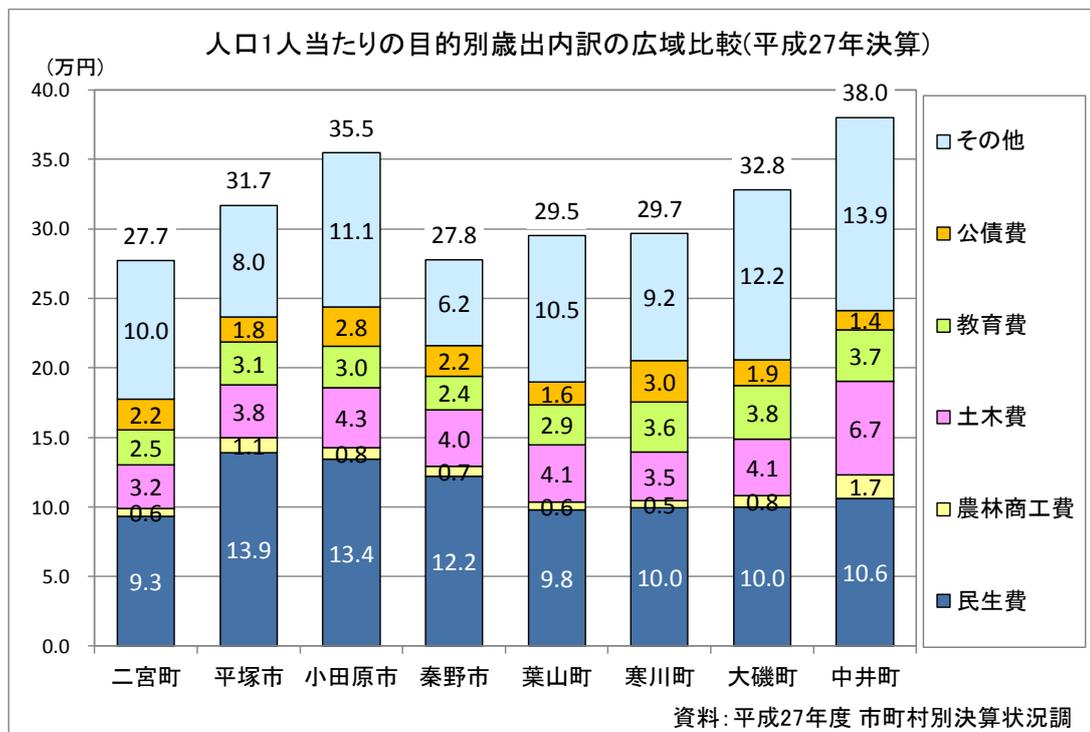
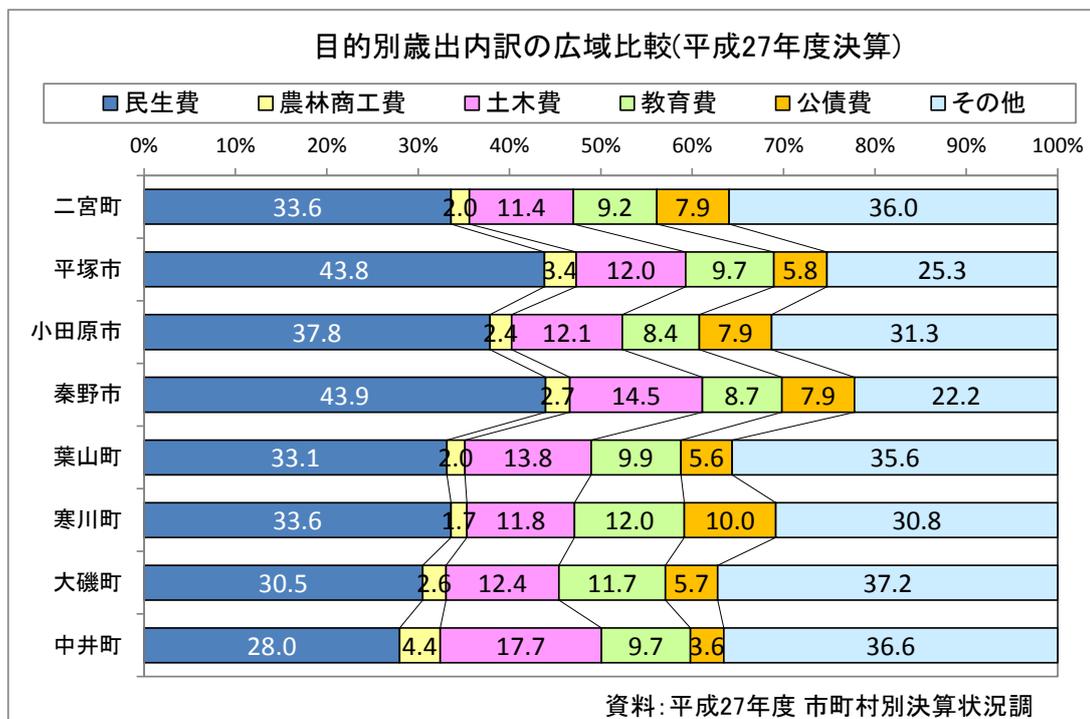
### (1) 歳入

- 平成27年度（2015年度）の歳入額は81.4億円で、平成23年度（2011年度）以降は80億円程度で推移しています。
- 町が独自に調達できているのは歳入の55.9%（町税+その他の自主財源）で、周辺・同規模自治体では最も比率が低くなっています。

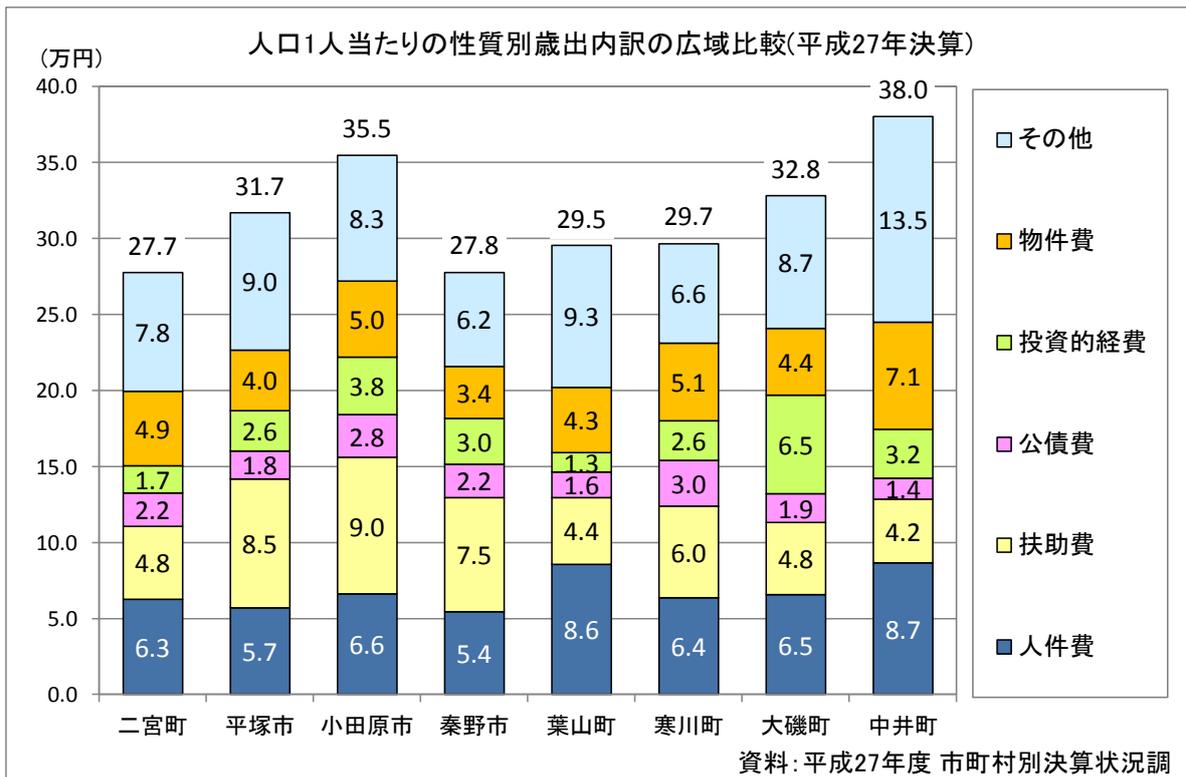
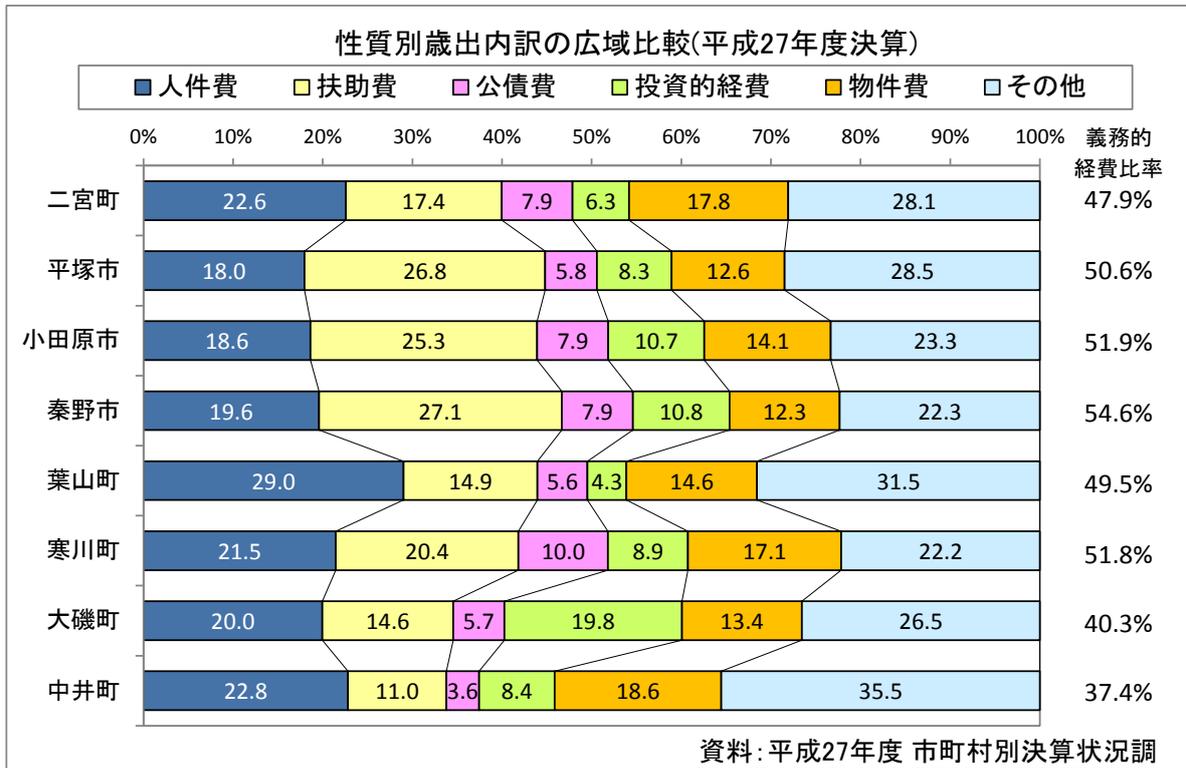


## (2) 歳出

- 周辺・同規模自治体と目的別の歳出内訳を比較すると、民生費の比率は中井町、大磯町、葉山町に次いで低くなっています。
- 人口1人当たりの歳出額は27.7万円で、周辺・同規模自治体と比較すると、最も低い水準にあります。
- 性質別に歳出内訳をみると、義務的経費の比率は47.9%と中井町、大磯町に次いで低くなっています。



※グラフ中の数値は少数第2位で四捨五入しているため、表示されている数値を足しても合計値と一致しない場合があります。



※グラフ中の数値は少数第2位で四捨五入しているため、表示されている数値を足しても合計値と一致しない場合があります。

### (3) 財政指標

- 平成 27 年度決算の経常収支比率は 96.3%で、周辺・同規模自治体と比較すると、寒川町、葉山町に次いで高い水準にあり、義務的経費の比率は低いものの、財政の硬直化が進んでいることを示しています。
- 財政力指数は 0.76 で、周辺・同規模自治体と比較すると最も低く、自主財源が少ない状況を反映しています。
- 将来負担比率は 57.2%で、周辺・同規模自治体と比較すると大磯町に次いで高く、町の財政規模に対して負債の比率が高くなっています。

